地元からの主な意見に対する対応等

◆浸水被害に対する補償支援について

- ・家屋の浸水被害、農作物被害など浸水被害に対する補償、支援をしてほしい。

- 農作物被害等に対する補償支援制度、相談窓口の確認をおこないました。
また、令和7年1月15日に、市、県、国で勉強会を開催し、問題点などを共有するとともにどのようなことが可能か話し合いを行いました。

◆豊川放水路の影響について

- ・豊川放水路を早く開けたり、開けばなしにすれば水位が下がり、霞への浸水被害が軽減されるのではないか。

- 開放するタイミングの違いによる上流への影響は限定的と推定されます。

◆危険水位の設定について

- ・危険水位は無堤部から溢水により河川区域外で相当の家屋が浸水等の被害が生ずる恐れのある水位であるため、危険水位を見直し、霞堤地区を対象とした洪水予報(氾濫危険情報等)を発令できるようにすべき

- 霞堤地区においてリードタイム(水位上昇速度及び避難等に要する時間)を考慮し危険水位を設定した場合、どの程度の水位になるか検証していく予定です。

⇒ 上記等については地区の役員と引き続き話し合いの場を設け、丁寧に説明し、理解を求めていきます。